

令和5年度

# 第2回学校評価まとめ



令和5年度 2学期の行事から

令和5年11月実施

郡山市立西田学園

## 令和5年度 第2回学校評価平均点分析

### 見方

学校評価アンケートをもとに、各段階を4点、3点、2点、1点と点数化し、それぞれの区分・項目の得点を平均しました。2.5を中央値とし、4に近いほど評価が高く、1に近いほど評価が低いと考えて分析を行いました。

### 概況・課題と対策

### 概況・課題

#### 教職員

すべての項目で2.5を超えている。特に、AETの活用や英語表現科・外国語活動・外国語の指導、ICTの活用、部活動の促進、安全教育の充実についての評価が高い。9年間のつながりについては前期に比べ向上したが、課題解決スキル、プログラミング学習、読書活動の項目で評価が低い。

#### 児童 ・ 生徒

すべての項目で2.5を超えており、特に低学年で評価が高い。  
自己存在感の育成、部活動、安全教育、事故防止については全ての学年で平均が3.5を超えており、安全かつ健康に学校生活を送っている様子が見られる。また、学習面については、ICT活用・教科担任制・英語表現科・外国語活動・外国語の指導の項目で評価が高い。  
中・高学年では、問題解決スキルや生徒会活動が比較的低く、特に中学生で読書活動の評価が低い。

#### 保護者

すべての項目で2.5を超えており概ね評価が高い。特に「子どもたちが楽しく意欲的に登校している」こと及び、「9年間のつながり」について評価が高い。前期と比較し、生活指導面での評価が向上しており、異学年交流や自己存在感の育成、事故防止等の項目で向上が見られた。学習内容の定着、読書活動について評価が低い。

### 対策

- 安全教育・事故防止については、現在の対策を継続し徹底する。
- 学習内容の定着については、ICTを活用した授業改善を進め、スタディサプリ等の学習アプリを活用し、個別最適化された学習に繰り返し取り組ませる。
- 読書活動については、教科科目にかかわらず、朝の読書等の機会を活用し読書を勧めていく。また、司書を活用し、図書委員会の活性化を図ることで、中学生の読書のきっかけ作りを行う。
- 問題解決スキルの向上については、学力調査の結果を分析・共有し、授業の改善を図る。
- コミュニケーション力については、協働的な学習を取り入れることで交流活動の活性化を図る。

### 自由記述について

多くの保護者の皆様から学校の教育活動へのお褒めの言葉をいただくとともに、学校へのご助言をいただきました。いただいたご意見は今後の学校運営の改善に活かして参ります。

令和5年度 第2回 学校評価平均値一覧

教育目標	重点項目	項目	教職員	児童 1～4年	児童・生徒 5～7年	生徒 8・9年	保護者	
豊かな知性 自ら考え、自ら表現し、共に学び合う子どもの育成	1 9年間の発達段階に応じた学びの連続性	(1) 学校生活全般	3.5	3.6	3.2	3.4	3.6	
		(2) 9年間のつながり	3.0	3.8	3.4	3.4	3.7	
		(3) 学習指導・学力向上	3.3	3.5	3.3	3.5	3.2	
		(4) 主体的な態度	3.4	3.0	3.1	3.2	3.1	
	2 専門的な学びの実現	(5) 教科担任制	3.2		3.5	3.8	3.2	
		(6) 定期テスト・学習内容の定着	3.2	3.7	3.0	3.4	2.7	
		(7) 問題解決スキル	3.0	3.3	3.1	3.2	3.0	
	3 英語力の向上	(8) A E T活用	3.7	3.7	3.1	3.7	3.1	
		(9) 英語表現科・外国語活動・外国語	3.7	3.7	3.4	3.6	3.4	
	4 ICTを活用した新しい時代を生き抜くための学力の確立	(10) ICT活用	3.7	3.8	3.6	3.7	3.4	
		(11) プログラミング学習	3.0	3.4	3.0		3.3	
美しい心 自己理解・他者理解を深めながら、共に高め合う子どもの育成	1 地域の伝統や文化を学ぶことによる、郷土愛の育成	(1) 郷土愛	3.4	3.7	3.3	3.2	3.3	
	2 地域の豊かな自然によって育む、命や自然を大切にすること	(2) 命・自然	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	
	3 地域の施設や職場を活用しての望ましい勤労観、職業観の育成	(3) 勤労観・職業観	3.3	3.7	3.4	3.5	3.2	
	4 自他を認め、相手を思いやる心の育成	(4) 異学年交流	3.5	3.7	3.3	3.4	3.5	
		(5) 自己存在感	3.5	3.8	3.5	3.5	3.5	
		(6) 思いやり	3.3	3.5	3.4	3.5	3.4	
		(7) 生徒会活動	3.3		3.1	3.1	3.4	
	5 温かい人間関係の醸成と、コミュニケーション能力の向上	(8) あいさつ・返事	3.0	3.4	3.2	3.3	3.0	
		(9) コミュニケーション	3.1	3.6	3.1	3.1	3.1	
		(10) 規範意識	3.3	3.5	3.4	3.7	3.4	
		(11) 読書活動	2.7	3.4	3.0	2.7	2.6	
強い心と体 たくましい心と体で、共にがんばり合う子どもの育成	1 心身の健康と運動能力の向上	(1) 健康な体作り	3.5	3.7	3.3	3.3	3.3	
		(2) 体育的行事	3.5	3.8	3.4	3.5	3.4	
		(3) 部活動	3.6		3.5	3.5	3.3	
		(4) 教育相談体制	3.7	3.4	3.0	3.3	3.1	
	2 生涯にわたり健康な生活を送るための食育を核とした健康教育の充実	(5) 健康教育	3.5	3.4	3.3	3.4	3.2	
		(6) 生活習慣	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	
		(7) 保健指導体制	3.5	3.6	3.4	3.6	3.3	
	3 危険予知・危険回避能力の向上	(8) 安全教育	3.7	3.7	3.5	3.8	3.5	
		(9) 事故防止	3.6	3.6	3.5	3.7	3.6	
	地域を基盤とした教育支援体制の充実	1 「チーム西田」で創るコミュニティスクールの構築	(1) コミュニティ・スクール	3.2				
			(2) 地域ボランティア活用	3.3				3.3
(3) 情報発信			3.5				3.4	

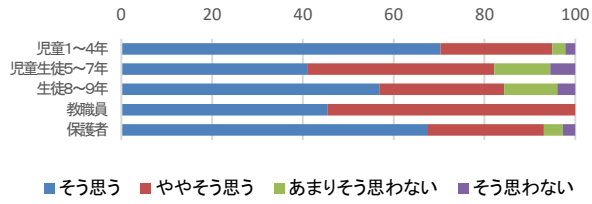
# 令和5年度 学校評価 平均値比較一覧

0.2以上  
UP

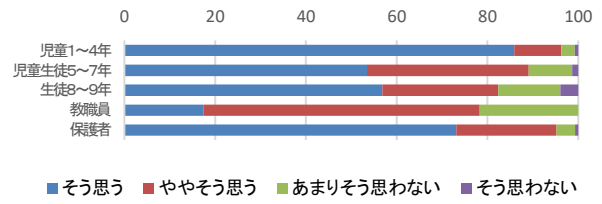
0.2以上  
DOWN

教育目標	重点項目	項目	質問内容	教職員		児童1～4年		児童・生徒5～7年		生徒8・9年		保護者		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
豊かな知性 自ら考え、自ら表現し、共に学び合う子どもの育成	1 9年間の発達段階に応じた学びの連続性	(1) 学校生活全般	子どもたちは、楽しく意欲的に登校してきている。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.2	3.2	3.3	3.4	3.6	3.6	
		(2) 9年間のつながり	4・3・2のまとまりを有効に活用し、発達段階に応じた教育活動を行っている。	2.9	3.0	3.7	3.8	3.2	3.4	3.3	3.4	3.6	3.7	
		(3) 学習指導・学力向上	学習内容の系統性を考慮し、学習指導方法を工夫して、わかりやすい授業を行っている。	3.4	3.3	3.5	3.5	3.2	3.3	3.5	3.5	3.1	3.2	
		(4) コース学習・主体的な態度	課題設定の工夫等により、主体的な学習態度の育成に努めている。	3.5	3.4	3.2	3.0	3.1	3.1	3.3	3.2	3.0	3.1	
	2 専門的な学びの実現	(5) 教科担任制	5・6年生から教科担任制を活用し、より専門的な指導を行い、効果を上げている。	3.2	3.2			3.3	3.5	3.7	3.8	3.2	3.2	
		(6) 定期テスト・学習内容の定着	定期テストやスタディサプリ、活用学習シートなどの活用によって、学習の定着を図っている。	3.1	3.2	3.7	3.7	3.0	3.0	3.2	3.4	2.8	2.7	
		(7) 問題解決スキル	学力調査等を活用し、様々な場面での問題解決スキルが身につくような工夫を授業の中に取り入れている。	3.4	3.0	3.3	3.3	3.0	3.1	3.1	3.2	2.9	3.0	
	3 英語力の向上	(8) A E T 活用	A E T の活用を通して英語指導の充実を図っている。	3.6	3.7	3.7	3.7	3.1	3.1	3.4	3.7	3.2	3.1	
		(9) 英語環境	英語に関する環境及び英語発音等の学習を活かして、英語で楽しくコミュニケーションを図る態度を育成している。	3.5	3.7	3.6	3.7	3.3	3.4	3.5	3.6	3.4	3.4	
	4 ICTを活用した新しい時代を生き抜くための学力の確立	(10) ICT活用	ICT活用技術を身につけ、授業にタブレットなどの情報端末を利用している。	3.7	3.7	3.7	3.8	3.4	3.6	3.7	3.7	3.3	3.4	
		(11) プログラミング学習	プログラミング学習を通して、論理的な思考力を育成している。	3.0	3.0	3.2	3.4	3.2	3.0			3.3	3.3	
美しい心 自己理解・他者理解を深めながら、共に高め合う子どもの育成	1 地域の伝統や文化を学ぶことによる、郷土愛の育成	(1) 郷土愛	郡山市や西田町の地域伝統文化・特産物などに目を向け、郷土のよさを感じている。	3.6	3.4	3.7	3.7	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3	
		(2) 命・自然	農業体験や自然体験などを通して、命や自然を大切にすることを育てている。	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	
	3 地域の施設や職場を活用しての望ましい勤労観、職業観の育成	(3) 勤労観・職業観	体験学習に地域の施設や職場を活用し、勤労観や職業観の育成に努めている。	3.6	3.3	3.7	3.7	3.4	3.4	3.5	3.5	3.1	3.2	
		(4) リーダーシップの育成	縦割り班での活動を通して、児童生徒の望ましい人間関係がつけられるよう支援している。	3.5	3.5	3.6	3.7	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4	3.5	
	4 自己を認め、相手を思いやる心の育成	(5) 自己存在感	学級や部活動に自分の存在価値を見つけて、楽しく過ごせるように支援している。	3.8	3.5	3.7	3.8	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	
		(6) 思いやり	特別の教科指導を要とした学校生活全般において他人を思いやる心を養い、よりよい人間関係の構築に努めている。	3.3	3.3	3.6	3.5	3.3	3.4	3.6	3.5	3.3	3.4	
		(7) 生徒会活動	5・6年生から生徒会活動に参加することで、社会性や責任感を育んでいる。	3.2	3.3			3.1	3.1	3.2	3.1	3.3	3.4	
	5 温かい人間関係の醸成と、コミュニケーション能力の向上	(8) あいさつ・返事	学校生活のあらゆる場面でさわやかなあいさつ、はっきりとした返事ができるよう指導している。	3.1	3.0	3.6	3.4	3.3	3.2	3.4	3.3	3.0	3.0	
		(9) コミュニケーション	交流活動等を通して、コミュニケーション力を高めている。	3.2	3.1	3.6	3.6	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	
(10) 規範意識		集団の中のルールを守り、望ましい集団生活が送れるよう指導している。	3.2	3.3	3.5	3.5	3.4	3.4	3.6	3.7	3.3	3.4		
(11) 読書活動		積極的に読書に親しむよう、指導している。	3.0	2.7	3.6	3.4	3.1	3.0	3.0	2.7	2.7	2.6		
強い心と体 たくましい心と体で、共にがんばり合う子どもの育成	1 心身の健康と運動能力の向上	(1) 健康な体作り	体育の授業を中心とした年間を通じた体力向上の取組により、体力向上を図る。	3.5	3.5	3.6	3.7	3.3	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3	
		(2) 体育的行事	異学年や全校での体育的行事を通して、運動に親しむ態度やたくましい心の育成に努めている。	3.5	3.5	3.8	3.8	3.4	3.4	3.6	3.5	3.4	3.4	
		(3) 部活動	年間計画に基づき、生徒の主体的な活動を中心とする部活動を促進している。	3.4	3.6			3.5	3.5	3.5	3.5	3.3	3.3	
		(4) 教育相談体制	悩みごと調査を定期的に行うとともに、教育相談を実施している。	3.8	3.7	3.5	3.4	3.2	3.0	3.3	3.3	3.0	3.1	
	2 生涯にわたり健康な生活を送るための食育を核とした健康教育の充実	(5) 健康教育	学級活動を始め、機会を捉えて健康教育や保健安全指導を行っている。	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.5	3.4	3.2	3.2	
		(6) 生活習慣	食生活や生活習慣の改善を促し、家庭との連携を図った改善に努めている。	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	
		(7) 保健指導体制	関係機関との連携を図り、保健指導(歯磨き指導や性教育等)の充実を努めている。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.4	3.5	3.6	3.2	3.3	
	3 危険予知・危険回避能力の向上	(8) 安全教育	避難訓練や防犯教室など安全教育の活動を企画・実践している。	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8	3.8	3.4	3.5	
		(9) 事故防止	学校生活、登下校時や連休日の部活動での事故・けがの未然防止について指導を徹底している。	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.7	3.7	3.4	3.6	
	地域を基盤とした教育支援体制の充実	1 「チーム西田」で創るコミュニティスクールの構築	(1) コミュニティスクール	学校運営協議会の趣旨を理解し、協力している。	3.1	3.2								
			(2) 地域ボランティア活用	地域ボランティアを活用し、連携協力している。	3.5	3.3							3.3	3.3
(3) 情報発信			教育活動等をお便りやホームページ等で積極的に発信している。	3.8	3.5							3.4	3.4	

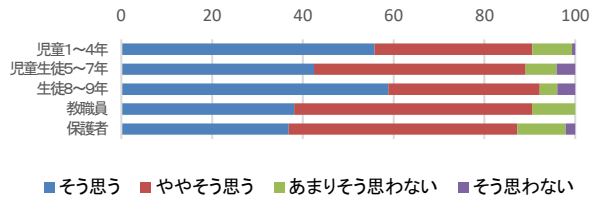
1 学校生活全般  
(子どもたちは、楽しく学校に通っている)



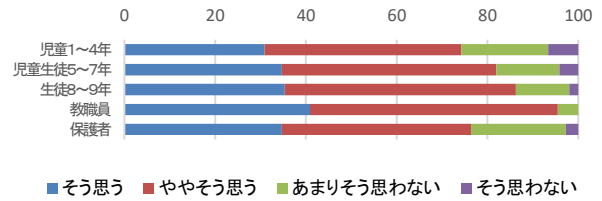
2 9年間のつながり  
(学校行事や生徒会活動など、小・中を合わせた活動に楽しく取り組んでいる)



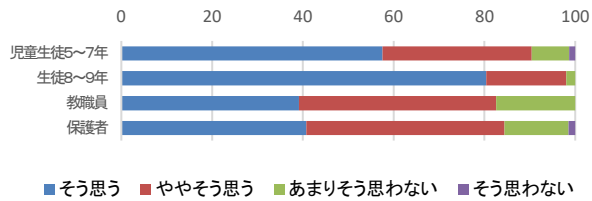
3 学習指導  
(学習方法が工夫されていて、授業がわかりやすい)



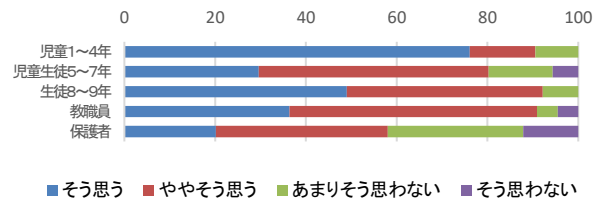
4 主体的な態度  
(課題設定の工夫等により、進んで学習に取り組んでいる)



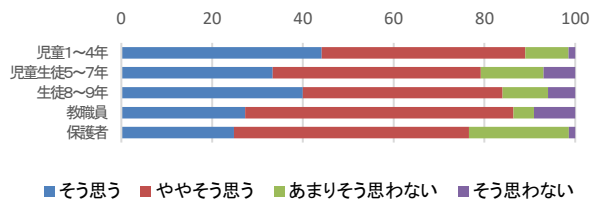
5 教科担任制  
(教科担任による専門的な指導により、効果的に学習ができています)



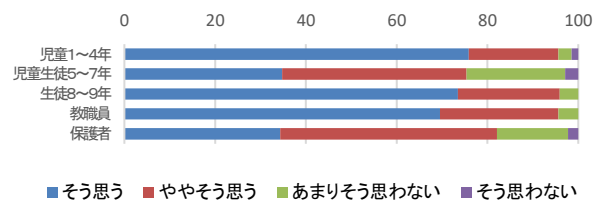
6 定期テスト・学習内容の定着  
(定期テスト等に向けて計画的に学習に取り組む、学習内容が定着している)



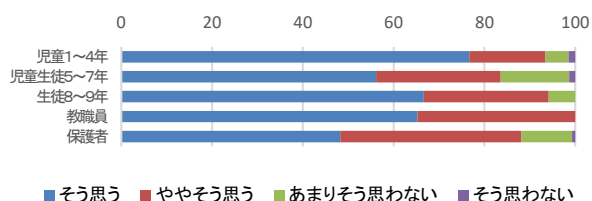
7 問題解決スキル  
(授業での学習内容を生活の中で活用し、問題解決に役立っている)



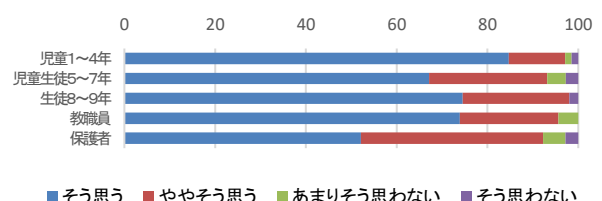
8 AET活用  
(AETの活用を通して英語指導の充実を図っている)



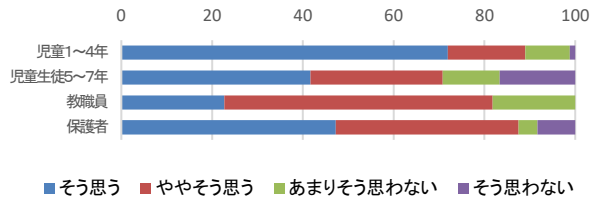
9 英語環境  
(英語表現科・外国語活動・外国語の授業により、楽しく英語の学習をしている。)



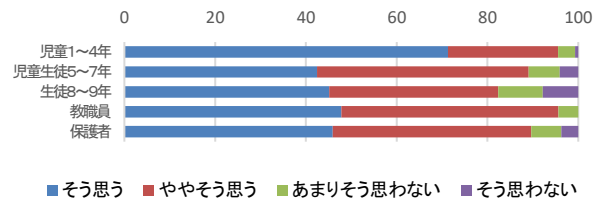
10 ICT活用  
(学習で1人1台のタブレットや大型モニター等の機器を有効に活用している)



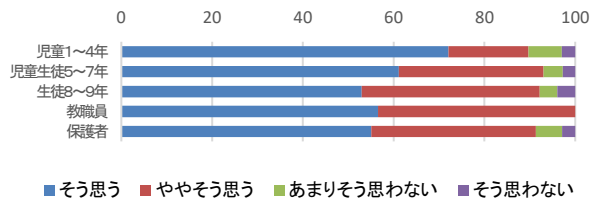
11 プログラミング学習  
(プログラミング学習の授業で楽しくプログラミングについて学習している)



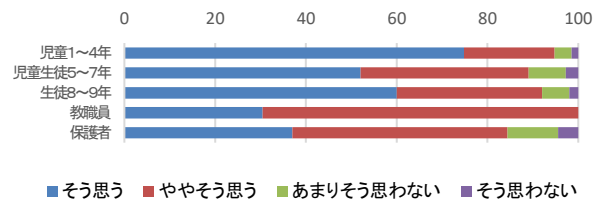
12 郷土愛  
(地域の伝統文化・特産物などの学びから、郷土のよさを感じている)



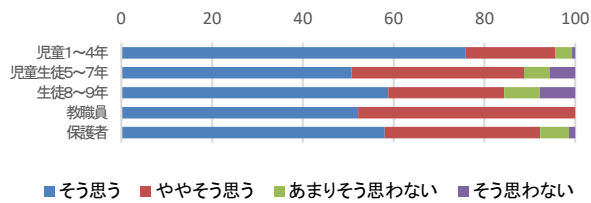
13 命・自然  
(農業体験や自然体験などを通して、命や自然を大切にすることを育てている)



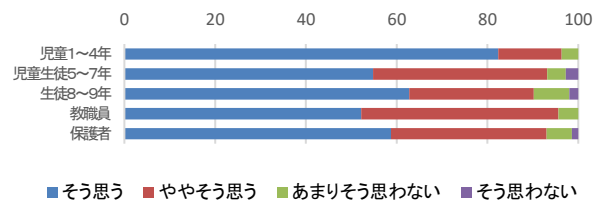
14 勤労観・職業観  
(体験学習に地域の施設や職場を活用し、勤労観や職業観の育成に努めている)



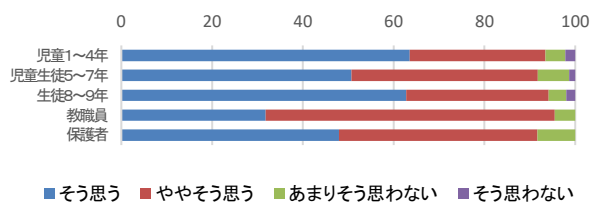
15 異学年交流  
(縦割り班での活動を通して、児童生徒の望ましい人間関係ができています)



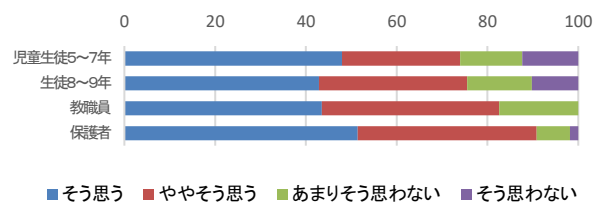
16 自己存在感  
(学級や部活動に自分の存在を見つけ、楽しく過ごせるように支援している)



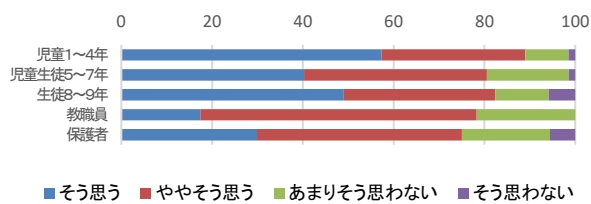
17 思いやり  
(学校生活全般において他人を思いやる心を育み、よりよい人間関係の構築に努めている)



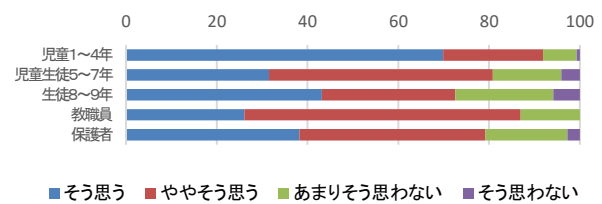
18 生徒会活動  
(5・6年生から生徒会活動に参加することで、社会性や責任感を育てている)



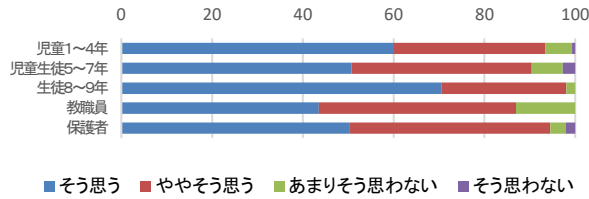
19 あいさつ・返事  
(学校生活のあらゆる場面でさわやかなあいさつ、はっきりとした返事ができる)



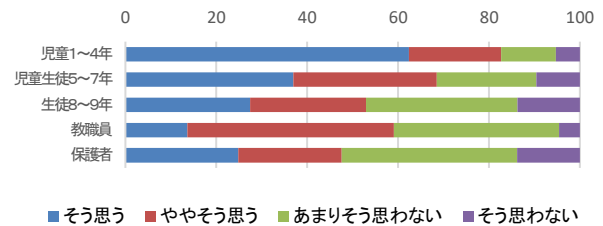
20 コミュニケーション  
(交流活動等を通して、コミュニケーション力が高まっている)



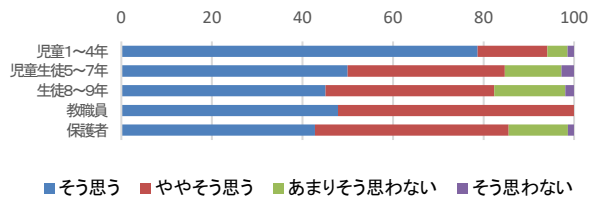
21 規範意識  
(集団の中のルールを守り、望ましい集団生活  
が送れている)



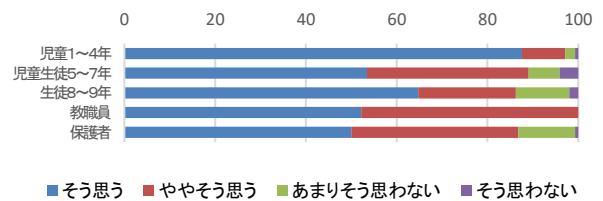
22 読書活動  
(積極的に読書に親しんでいる)



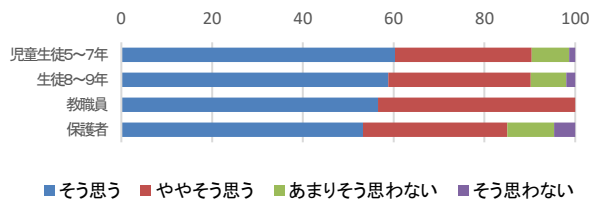
23 健康な体作り  
マラソントイム・なわとびタイム等の年間を通した  
体力向上の取組により体力が向上している)



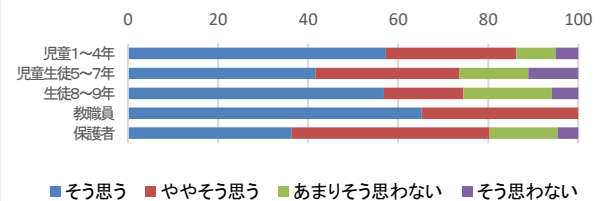
24 体育的行事  
(体育的行事の計画的な実施により運動に親し  
む態度やたくましい心が育っている)



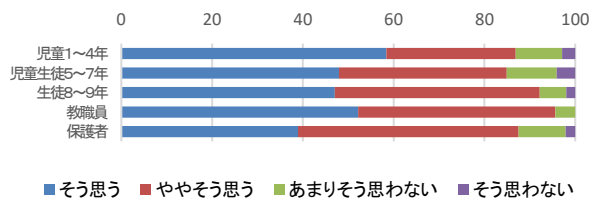
25 部活動  
(部活動や特設活動に主体的に取り組んでい  
る)



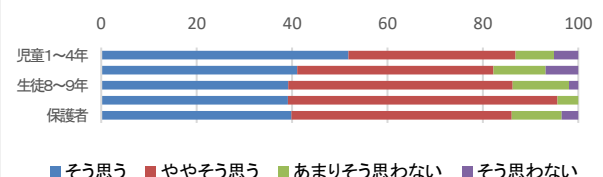
26 教育相談体制  
(悩みごとと調査や教育相談により、  
安心して悩みを相談できる)



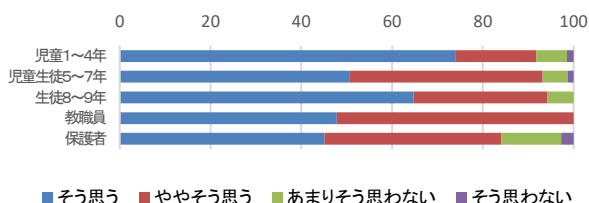
27 健康教育  
(健康教育や保険安全指導により、健康で規則  
正しい生活や病気の予防に心がけている)



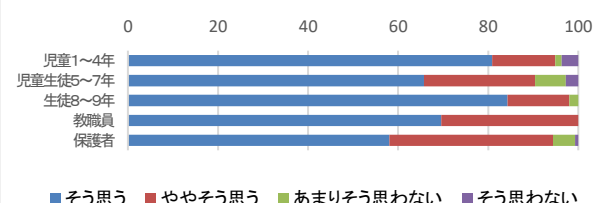
28 生活習慣  
(学校と家庭の連携により、食べることの大切  
さを理解し、バランスの良い食事を心がけてい  
る)



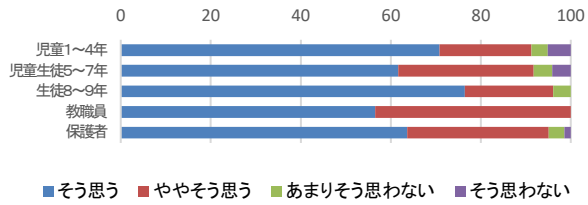
29 保健指導体制  
(歯みがきの大切さを理解し、虫歯予防に努め  
ている)



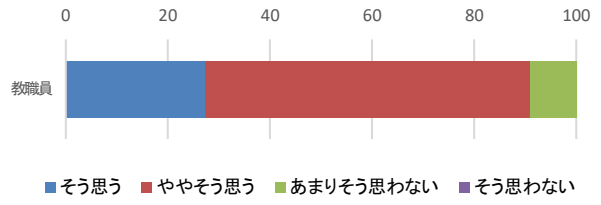
30 安全教育  
(交通安全教室や避難訓練、防犯教室を通し  
て安全に対する意識が高まっている)



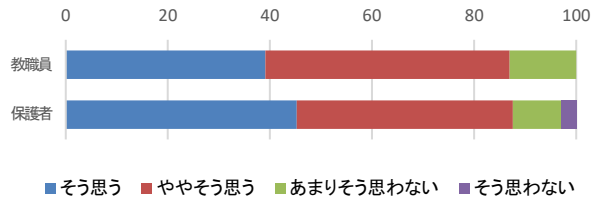
31 事故防止  
(学校生活や登下校時、週休日の部活動等での事故・ケガに注意して過ごしている)



32 コミュニティスクール  
(学校運営協議会と学校・家庭・地域が連携協力している)



33 地域ボランティア活用  
(地域ボランティアを活用し、連携協力している)



34 情報発信  
(教育活動をお便りやホームページ等で積極的に発信している)

